

第六、大東亞宣言案内示

帝國政府へ前記大本營政府連絡會議了解「大東亞會議開催ニ關スル件」ノ五及帝國政府訓令ノ四ニ基キ我方關係機關ニ於テ原案作成方研究中ナリシ處成案ヲ待タルヲ以テ十月二十三日大本營政府連絡會議了解トナシタル上同日參加國駐劄帝國大使ヲシテ夫々相手國政府ニ内示シ且説明セシメタリ

(1) 大東亞共同宣言案

抑モ世界各國カ各々其ノ所ヲ得相倚リ相扶ケテ萬邦共榮ノ樂ヲ備ニスルハ世界平和確立ノ根本要義ナリ  
然ルニ米英ハ自國ノ繁榮ノ爲ニハ他國家他民族ヲ抑壓シ特ニ大

大東亞省

東京1730 (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -48

514

東亞ニ對シテハ飽クナキ侵略擴張ヲ行ヒ大東亞會議開催ノ新機ヲ導クシテ遂ニハ大東亞ノ安定ヲ根柢ヨリ盤サントナリ大東亞會議ノ原因茲ニ存ス

大東亞各國ハ相提携シテ大東亞會議ヲ完遂シ大東亞ヲ米英ノ權權ヨリ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全ウシ左ノ願望ニ基キ大東亞ヲ建設シ以テ世界平和ノ確立ニ寄與ヤンコトヲ期ス

大東亞各國ハ協同シテ大東亞ノ安定ヲ確保シ道義ニ基ク共存共榮秩序ヲ建設ス

大東亞各國ハ相互ニ自主獨立ヲ尊重シ互助協同ノ實ヲ擧ケ大東亞ノ親和ヲ確立ス

大東

東京1730 (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -48

515

REEL No. A-1211

0285

アジア歴史資料センター

大東亞各省

一、大東亞各國へ相互ニ其ノ傳統ヲ尊重シ各民族ノ創造性ヲ伸揚シ大東亞ノ文化ヲ昂揚ス

二、大東亞各國へ互恵ノ下緊密ニ提携シ其ノ經濟發展ヲ圖リ大東亞ノ繁榮ヲ増進ス

三、大東亞各國へ萬邦トノ交誼ヲ篤クシ人種的差別ヲ撤廢シ普ク文化ヲ交流シ進ンテ資源ヲ開放シ以テ世界ノ進運ニ貢獻ス

(2) 大東亞共同宣言案ニ關スル說明

議案ノ原案タルヘキモノトシテ大東亞共同宣言案ヲ作成セリ就テハ貴使へ左記御留意ノ上速急右案ニ對スル責任國側ノ意見ヲ徵セラレ成ルヘク早日ニ遲タモ二十八日迄ニ接到スル様四電

大東亞各省

516

アリタシ

一、本宣言案へ大東亞會議議案(戰爭完遂ノ決意ト大東亞共榮圈確立ノ方針ト)中外ニ闡明スルモノノ草案ニシテ右宣言以外ニハ別ニ決議案等ノ提出ヲ考慮シ居ラス而シテ右宣言ニハ各國代表ノ名ヲ掲グルモ之ヲ條約トスル御旨ニハアラス(會議ニ於テ採擇ノ上ハ公義スルモノナルコト勿論ナリ)

二、本宣言案ノ内容ニ關シ

イ、本宣言案ノ構成トシテハ第一段ニ世界平和確立ノ根本要義ヲ掲ケ第二段ニ大東亞戰爭ノ原因ヲ指摘シ第三段ニ戰爭完遂ト大東亞建設ノ決意ヲ示シ末段ニ大東亞建設ノ綱領ヲ

大東亞省

517

REEL No. A-1211

掲ケタリ而シテ右綱領ノ第一項ハ共存共榮ノ原則第二項ハ  
 獨立親和ノ原則第三項ハ文化昌揚ノ原則第四項ハ經濟繁榮  
 ノ原則第五項ハ世界進運貢獻ノ原則ヲ示スモノナルカ第一  
 項ハ大東亞建設ノ大本ヲ示シ第二項乃至第四項ハ大東亞各  
 國相互間ノ關係ヲ唱ヒ第五項ハ大東亞ト大東亞以外ノ諸國  
 トノ關係ヲ述ヘタルモノナリ  
 ロ、本案ノ内容全邊ヲ述シ大東亞各國天々ノ立場ニ付テハ篤  
 ト考量ヲ拂ヒ苟シクモ一國ノミノ都合ニ偏セサル様細心ノ  
 注意ヲ加ヘタリ而シテ一方辭儀ニ對スル影響ヲモ考慮シ之  
 ヲ效果的ナラシムル爲其ノ措辭構文ハ出來得ル限り簡潔ナ

大東亞省

（東京1730）（日本標準規格 B 5）  
S 1.7.0.0 -48

518

ラシメタリ  
 ハ、戰爭完遂ノ決意表明ニ關シテハ宣戰シ居ラサル滿洲國及  
 「フィリピン」國ノ立場ヲモ特ニ考慮シテ第三段ノ如キ表  
 現ヲ用ヒタリ  
 ニ、綱領第五項ノ資源開放ノ點ハ要スルニ大東亞各國カ大東  
 亞ノ資源ヲ獨占シテ世界ニ向テ閉鎖的經濟ヲ行ヘントスル  
 モノニアラサル敬旨ヲ言ヘントスルモノナリ  
 三、本草案ニ對スル各國ノ意見聽取ニ當リテハ我方トシテハ本案  
 ヲ無理ニ押付クル意ハナキモ前記ノ如ク我方トシテハ各國ノ  
 立場ニ付慎重考量ヲ加ヘタル結果作成セルモノナリニ付其

大東亞省

（東京1730）（日本標準規格 B 5）  
S 1.7.0.0 -48 519

REEL No. A-1211

ノ儘同意ヲ待シコトヲ特ニ希望スル次第ナリ就テハ貴使ニ於  
テ右御含ミノ上先方ニ對シ本案ノ趣旨ヲ良ク説明セラレ先方  
納得ノ下ニ具ノ儘同意スル確極力御努力相成度  
尙各國側ニ於テ言ヘント欲スル所ハ會議ニ於ケル各國代表所  
見開陳ノ際充分披露スルノ機會アルコトハ御承知ノ通ナリ

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 520

第七 大東亞會議招請及大東亞共同宣言案ニ對スル參加國ノ意圖  
(1) 中華民國

在華帝國大使ヨリ十月十八日汪主席ニ正式招請狀ヲ手交シ更ニ  
二十五日大東亞共同宣言案ヲ内示シ詳細説明ヲ加ヘタル處主席  
ハ至極結構ナリトテ直ニ同意ヲ表シタリ

(2) 「タイ」國

大使不快ノ爲石井參事官ヲシテ十月十七日招請狀ヲ「ウイチツ  
ト」外相ニ手交シ直キタル處二十一日「ダムロン」外相事務管  
掌ヨリノ公文ヲ以テ「タイ」國政府ハ帝國政府招請ヲ受諾スル  
旨以ニ首相ハ健康上現在ノ處長途ノ旅行ニ堪ヘサルニ付「ワン

大東亞省

S 1.7.0.0 -48

521

REEL No. A-1211

0288

アジア歴史資料センター

ワイ」殿下ヲ「タイ」國代表トシテ任命シ「ワ」ハ首相ヲ代表  
 シ其ノ首相ノ名ニ於テ又ハ其ノ代理トシテ行フ一切ノ行爲ニ對  
 シ首相ニ於テ責任ヲ取ルヘキ旨又「チャイ」少將及「シット」  
 外務次官ヲモ會議ニ參列ノ爲派遣スヘキ旨回答趣スト共ニ會議  
 ノ目的等ニ關スル詳細ハ更ニ在泰帝國大使ヨリ承知シタキ旨申  
 趣シタリ尙右ニ附屬スル「メモランダム」ニ於テ茲ニ日本側ヨ  
 リ要求セル事項即チ「ワンワイ」カ「ビブン」ノ名代トシテノ  
 地位ヲ有シ其ノ行爲ハ總テ「ビブン」ニ於テ責任ヲ負フモノナ  
 ル旨ヲ招請狀ノ回答文中ニ明確ナラシムルコト並ニ會議ノ結果各  
 代表ノ連名ニテ發表スル宣言ニハ「「ビブン」ノ爲ニ」トシテ

大東亞省

東東1720 (日本標準規格 B5)  
 S 1.7.0.0 -48

522

代理者ノ名前ヲ發表スルコトノ二項目ヲ諒承セル旨申趣セリ  
 次テ在泰帝國大使ハ二十五日「タムロン」及「ワンワイ」ニ對  
 シ大東亞共同宣言案ヲ示シ至急「タイ」國政府ノ意見圖示ヲ得  
 度キ旨申入レタル處「ワ」ハ早速總理ニ報告ノ上其ノ意圖ヲ御  
 知ラセヌヘント述ヘ更ニ自分カ總理代理トシテ會議ニ於テ開陳  
 スヘキ「タイ」國政府ノ見解ハ目下起草中ナルカ大體内示ヲ受  
 ケタル共同宣言案ト同一「ライン」ニ沿フ備考ヘラルルモ宣言  
 案綱領第五ノ共榮圈ト他ノ地域トノ關係ニ關シ第四ニ於テ共榮  
 圈内各國間ノ關係ヲ相互的ノモノタラシメントスル意圖ヲ「レ  
 シプロジェクト」ナル文字ヲ用ヒ明示シ居ルト同様第五ニ於テモ

大東亞省

東東1720 (日本標準規格 B5)  
 S 1.7.0.0 -48

523

REEL No. A-1211

相互的タルヘキコトヲ明ニ示スコトセララルニ於テハ宣言全  
文ニ流ルル正義ノ趣旨ヲ徹底セシメ得ルニ非スヤト考ヘ侍トノ  
個人的感想ヲ漏シタリ

「ワシワイ」ハ更ニ二十六日「ビブン」ト協議ノ結果ナリトテ  
共同宣言案ハ「タイ」政府ニテ「アクセプタブル」ナル旨「エ  
イド・メモアル」ヲ以テ回答スルト共ニ共同宣言案第五ヲ

"The promotion of reciprocal cultural and commercial intercourse"

變更方考慮セラレ度キ旨申越シタリ尤モ「ワ」ハ「タイ」政府  
トシテハ右變更方ヲ特ニ固執スル次第ニ非ル旨附言セルモ「ビ  
ブン」出席ニ諷スル「タイ」側トノ折衝経緯ニモ鑑ミ我万意嚮

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 524

ヲ傳ヘ直クコト適當ト認メ在泰帝國大使ヲシテ「タイ」側ニ對  
シ左ノ通り説明方電訓セリ

本宣言案第五項ハ大東亞ト大東亞以外ノ諸國トノ關係ヲ述ヘタ  
ルモノニシテ「タイ」側意見ノ通り富方ニ於テモ大東亞以外ノ  
諸國カ本項ノ本旨ニ「レシプロケート」スルコトニ依リ大東亞  
各國ト共ニ世界ノ進連ニ貢獻セムコトヲ強ク期待スルコト勿論  
ナルモ本宣言ニ於テハ大東亞カ世界ニ向テ閉鎖主義ヲ採ルモノ  
ニ非ルコトヲ大キク云ヒ表シ米英ニ對シテモ反省ヲ促サント狙  
ヘルモノニシテ其ノ中ニ劃限的條件ヲ挿入スルヨリハ原案ノ通  
リスルコトカ却テ其ノ效果ヲ大ナラシムル所以ニシテ又右ノ如

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 525

REEL No. A-1211

クスルモ條約規定ノ場合ト異リ將來ノ實行上支障ヲ來ス虞ヘナ  
キモノト思考シタル結果ナルニ付「タイ」側ニ對シ寫ト説明セ  
ラレ其ノ了解ヲ得ル俟御取計相成度

(8) 滿洲國

滿洲國政府ニ於テハ十月二十一日李外交部大臣ヨリ同日附公文  
ヲ以テ大東亞會議開催ニ議題ノ趣ヲ叙承「大東亞建設ノ現狀  
階ニ於テ斯カル會議開催ハ甚ニ意義深キ次第ナルニ付欣然政府  
代表者ヲ出席セシムルト共ニ貴國政府御提案ノ議題ニ函シテモ  
實意ヲ表ス」ル旨回答越セリ

尙大東亞共同宣言案ニ付テモ十月二十七日滿洲國政府ハ原案通

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 526

リニテ兵議ナキ旨通報シ來レルモ(1)滿洲國政府首腦部内ニハ日  
本側ニ於テ御差支ナキニ於テハ適當ノ段階ニ於テ其ノ代表ヲシ  
テ大東亞會議ヲ毎年一向東京ニ於テ開催セラレ度キ希望ヲ表示  
スルカ更ニ進ンテ右ニ關スル決議案ヲ提起セシムル意見モアル  
處帝國政府ノ意見何ヒ度キ旨以テ(四)假ニ右決議案提起ニ日本側  
ニ於テ賛成ナルモ滿洲國ヲシテ爲サシムルコトハ同國ト帝國ト  
ノ特殊關係ニ鑑ミ不適當ナリトセララルルニ於テハ中華民國具ノ  
他ヲシテ爲サシメ滿洲國ハ之ニ賛意ヲ表スルモ可ナル旨問合セ  
來レリ右滿洲國意見ニ對シ帝國政府ニ於テハ滿洲代表來朝後打合  
ヲ行フコトトセルカ結局滿洲ノ希望ヲ認メ會議第二日目ノ午後

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 527

REEL No. A-1211

議案採擇後ノ際滿洲國代表ラシテ簡單ニ「大東亞會議ノ如キ會議ヲ將來ニ於テモ隨時開催セララルコトハ極メテ有意義ト忠考シ且別カル種類ノ會議開催ヲ希望スル旨」演説セシムルコトトセリ尤モ本提案ハ決議等ノ形式ニヨリ拘束力ヲ有セシムルコトハ本會議開催ノ趣旨及本會議ノ性質ニ鑑ミ適當ナラスト認メラレタルヲ以テ右提案ニ對シテハ單ニ各代表カ拍手ヲ以テ賛意ヲ表スルコトトセリ（大東亞會議事務局ノ項參照）

(4) 「フィリピン」國

在比帝國大使ハ十月十九日「ラウレル」大統領ト會見シ招請狀ヲ手交セル處「ラ」ハ之ヲ全面的ニ了承シ且二十日附公文ヲ以

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 528

テ右ヲ受諾セル旨回答セリ向「フィリピン」國政府ハ十月二十八日大東亞共同宣言案ニ對シ其ノ儘ノ形ニテ同意ヲ表セリ

(5) 「ビルマ」國

十月十九日在蘭貢北澤參事官外務大臣ヲ往訪シ正式招請狀ヲ手交シタルニ二十一日附公文ヲ以テ「ビルマ」政府ハ日本政府ノ提案ニ全然同意スルモノニシテ日本政府ノ招請ヲ欣然受諾スル旨「バー・モウ」總理カ「ビルマ」代表トシテ會議ニ出席シ協力大臣及東京駐劄「ビルマ」大使カ本會議ニ列席スヘキ旨竝ニ一行ノ氏名ヲ回答シ來レリ

茲テ十月二十七日在蘭貢帝國大使ハ「バー」總理ヲ私邸ニ往訪シ

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 529

REEL No. A-1211



（「ワ・トン・ウオン」協力大臣同席）共同宣言案英譯文ヲ手  
 交シ旨頭實電ノ趣旨ニ依リ詳細説明ヲ加ヘ宣言案ニ對シ其ノ趣  
 同意スル儀極力説得ニ努メタルニ「バ」ハ本宣言案ニ關スル限  
 リ同意ナルカ本宣言ハ英米共同宣言ニ對抗スル意味ヲ有スル  
 モノナレハ大東亞ノミナラス全世界ノ反英米諸民族（「アラビ  
 ア」「エヂプト」「パレスティン」等）ニ呼掛ケ之ヲ我方ニ誘  
 致スル趣旨ノ文句ヲ附加スルコト適當ト思考セラレ此ノ趣旨ノ  
 提案ヲ會議第二日ノ議案審議ノ際述ヘタシトノ意見ヲ強ク主張  
 シタリ

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 530

先方ヲ押ヘ付ケ斯クノ如キ趣旨ノ提案ヲモ拒絶スルコト如何カ  
 ト思考ノ上其ノ趣トナシ直キタル趣ナリ

帝國政府ニ於テハ右大使ノ報告ニ基キ「ビルマ」代表一行來朝  
 ノ上納得ノ行ク儀打合ヲ遂ケルコトトセリ（大東亞會議事務局  
 ノ項参照）

大東亞省

S 1.7.0.0 -43 531

REEL No. A-1211

0294

アジア歴史資料センター

第八、大東亞會議事務局構成

帝國政府ハ大東亞會議ヲ主催スルニ當リ各代表一行中ヨリ適任者  
二名宛ヲ推薦セシメ大東亞會議事務局ヲ構成シ以テ大東亞會議ノ  
議事ノ圓滑ナル運用ヲ期スルコトヲ適當ト認メ此旨豫メ電報ヲ以  
テ連絡シ置キタルカ各代表來朝後更ニ連絡ノ上各代表ノ實同ヲ得  
十一月三日第一回ノ會合ヲ帝國議會會議事堂ニ於テ開催セリ（大東  
亞會議記録参照）

用製用半紙（石井製）

東京1730（日本標準規格 B5）

S 1.7.0.0 -43

532

第九、大東亞會議開催

大東亞會議ハ豫定ノ如ク十一月五日及六日ノ兩日ニ亙リ開催セラ  
レタリ（大東亞會議記録参照）

用製用半紙（石井製）

東京1730（日本標準規格 B5）

S 1.7.0.0 -48

533

大東亞省

REEL No. A-1211

0295

アジア歴史資料センター

第十、大東亞會議ニ關スル記事及論調

一、中華民國

(4) 汪主席談話新聞發表

今回ノ大東亞會議ハ歴史上ニ於ケル國際會議ト異ナル點カ三ツアル

第一「ナポレオン」戦争後ノ「ウィーン」會議第一次歐洲大戰ノ「パリ」會議ノ如キハ強者ノ弱者ニ對スル處分テアツテ目的ハ強者カ如何ニ弱者ヲ分割シ弱者カ自己ノ國ヲ如何ニ強者ニ提供スルカト云フコトテアツタ、大東亞會議ハ之ニ反シテ強者ノ弱者ニ對スル援助テアル、前者ハ功利的ノ見解ニ基キ後者

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 -48

534

ハ進歩精神ニ基クモノテ完全ニ相反スルモノテアル

第二ニ米國ノ「モンロー」主義ハ所謂米洲人ノ本洲ヲ唱へ、人種的偏見ニ基キ他ノ人種ヲ排斥シ米洲内ニ存在セシメサルコトヲ狙ツタモノテアル、大東亞會議ハ之ニ反シ所謂亞細亞人ノ亞細亞ヲ唱へ亞細亞ノ亞細亞人カ米英ノ壓迫ヨリ解放セル後資源ノ開發、文化ノ興隆ヲ世界ト共ニ共有セントスル公明正大ナモノノテアル

第三ニ最近米英等ハ屢々會議ヲ開催シテキルカ其ノ目的ハ次ノ二ツニ外ナラヌ、一ツハ英<sup>英</sup>國カ如何ニシテ其ノ既得ノ植民地ヲ保有シ、植民地ノ人民ヲ壓迫シ、其ノ獨立自由ヲ防止センカトイ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 -48

535

REEL No. A-1211

0296

フコト、他ノ一ツハ米國カ世界的ニ豐富ナル資源ヲ擁シテキル  
ニモ拘ハラス向之ニ満足セス如何ニスレハ全世界ヲ其ノ植民地  
トナシ侍ルカヲ企圖シテキルコトテアル、此ノ米英兩國ハ利害  
關係夫々相反スルモノテアルカ他ノ人種ヲ妨害シ他民族ヲ壓迫  
スルト云フ目的ノ上カラ同シ惡事ヲセサルヲ侍ナイノテアル、  
大東亞會議ハ之ニ反シ各民族ハ其ノ生存獨立ノ爲ニ奮闘シ掠奪  
サレタ利益ヲ回復スルニアリ、他人ノ利益ヲ掠奪セントスルノ  
テハナイ、之レハ卑劣極テアツテ侵略テハナイ  
以上三ツノ特點ヲ綜合スレハ大東亞會議ハ真正國際會議  
テアル、吾人ハ茲ニ於テ盟邦日本ノ唱進スル功徳ニ敬服スル、

大東亞省

S 1.7.0.0 -43 536

吾人ハ重慶カ曠然反省シ我ニ遠リ來ランコトヲ深ク憂ムモノテ  
アル、重慶ハ東亞ノ同志トナルカ、或ハ再ヒ其ノ過リヲ繰り返  
シ米英ニ使喚サレ獨立ノ芽ヲ出シタ「ビルマ」ニ及チ同ケテ尙  
足レリトセス、更ニ又目田印度ヲ毒セントシ斯クテ東亞ノ反逆  
者トナリ中國歷史上ニ未曾有ノ汚辱ヲ印セントスルカ、其ノ何  
レヲ避フカハ今ヤ重慶日身ノ選擇ヲ待ツノミテアル  
(四)王華北政務委員長談 十一月十六日  
日本ノ支彼ニ依ル「ビルマ」、「フィリピン」ノ獨立、印度ノ  
假政府樹立、今回ノ日華同盟條約ノ締結ニ依ツテ東亞民族ノ一  
大團結ハ完成セラレタノテアルカ、本月五、六ノ兩日日本政府

大東亞省

S 1.7.0.0 -43 537

REEL No. A-1211

ハ東亞六ヶ國ノ政府首腦者ヲ東京ニ招請シ大東亞會議ヲ開催シ  
テ、東亞ノ大計ニ付共同討議ヲ行ツタノテアル、私ハ此ノ會議  
ニ依ツテ大東亞十國民派カ~~殺~~ニ團結ヲ堅クシ致ノ如キ共同ノ意  
志ヲ以テ英米撃滅、翌 戰元遂ニ同ツテ邁進スルコトヲ信スルモ  
ノテアル

(ハ)大東亞宣言ニ關スル北支方面ノ見解(北大報告)

今次宣言ハ日華同盟條約ト共ニ中國ノミナラス大東亞地域ニ對  
スル日本ノ領土的欲望ニ關スル疑念ヲ完全ニ一掃シ大東亞各國  
ハ其ノ主權竝ニ領土ヲ保障セラレ日本ト緊密協力シテ大東亞戰  
争元遂ニ邁進スルニ至ルヘク中國モ亦日本ノ誠意ヲ諒トシ兵站

各地タル真務ノ重大ナルヲ再認識セリ

大東亞各國代表ヲ東京ニ招集シ本宣言ヲ論議確定セルハ大東亞  
戰爭元遂ニ歸スル日本ノ良力ヲ明カニシ且進發ニ急ク大東亞建  
設ニ對スル一員セル日本ノ國家ヲ中外ニ宣揚セルモノニシテ米  
英ノ主張スル大西洋憲章ノ内容空虛ナルモノト比較シ得ス  
「バー・モウ」代表ノ言ヘル如ク「ビルマ」ノ獨立無クシテハ  
「タイ」ノ獨立保障セラレス、「タイ」ノ獨立無クシテ大東亞  
ノ安定無シトスル信念ハ中國側人士ノ等シク抱ク處ニシテ大東  
亞宣言ハ大東亞諸國ノ結果ヲ彌力上ニモ鞏固ナラシメタリ  
皇座ハ大東亞ノ孤兒トシテ抗戰名目ヲ完全ニ喪大スルニ至リ其

大東亞省

(東京1730)(日本標準時格 R5)

S 1.7.0.0 -48

539

REEL No. A-1211

0298

アジア歴史資料センター

ノ陣營ニ動搖ヲ生スルコト勿論ナルヘキモ去リトテ固ニ全面和  
平實現スヘシトハ思考セラレスト爲スニ大體一致シ居レルカ、  
一部ニハ歐洲ニ於ケル獨逸ノ敗退ハ必至ナレハ日本ハ獨逸ノ支  
へ居ル時間ヲ利用シ以戦戦方固ヨリ重慶問題ヲ解決シ大東亞内  
部ヲ固メ取扱ノ勝利ヲ獲得ノ態勢ヲ完了セサルヘカラストテ變  
應スル向モアリ

(二) 氏國日報 (南京) 社説 十一月六日

米英等ノ「カサブランカ」、「ケベック」及莫斯科會談ハ米英  
侵略國側ノ分裂防止ノ爲ノモノニシテ今回ノ大東亞建設ノ爲ノ  
大東亞會談トハ同日ノ賦ニアラス、重慶モ國父ノ遺志ヲ奉スル

大東亞省

(東京1730) (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -43

540

以上米英ヨリ離レテ我等ト手ヲ握ルノ日必スヤ來ルヘク、吾人  
ハ全力ヲ擧ケテ一致協力大東亞及中國ノ生存發展ニ邁進スヘキ  
ナリ

(一) 中華日報 (上海) 社説 十一月七日

大東亞共同宣言ハ對外的ニハ東亞各國ノ東亞建設ニ對シ崇高ノ  
理念ヲ表明シ對内的ニハ大東亞建設上永久不變ノ綱領ヲ決定セ  
ルモノナリ而モ注意スヘキハ大東亞建設ハ英米式ノ強制的概念  
色彩ナク又排他的乃至門戸閉鎖ノ意思絶對無キモノナリ

(二) 中華日報 (上海) 社説 十一月八日

大東亞共同宣言ハ實ニ我々東亞民族ノ世界ニ誇ル一大盟約テア

大東亞省

(東京1730) (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -48

541

REEL No. A-1211

リ此ノ宣言ノ示ス如ク我々ハ東亞解放ノ爲ニ大東亞戰爭ヲ最後  
ノ勝利ノ日迄戦ヒ抜キ共存共榮ノ新天地ヲ建設シナケレハナラ  
ナイ、我々ノ今依爲スヘキコトハ唯一ツ、日本ト合作シ以テ國  
父孫文先生ノ希望セラレタ大東亞獨立主義ノ完成ニ向ツテ邁進ス  
ルコトアルノミテアル

(ト) 實報 (北京) 社説 十一月六日

大東亞共榮國ニ在ル六獨立國カ一堂ニ會シ大東亞新秩序建設ノ  
崇高ナル理念ヲ中外ニ宣揚シタルカ、此ノ中ニ示サレタル五大  
原則ハ各國カ等シク平等互恵ノ基礎ニ立チ道義ノ精神ニ依ル相  
互信頼ト協力ヲ表明シタルモノニシテ反極軸國豕行ノ會議ノ如

大東亞省

(東京1730) (日本標準規格 B5) S 1.7.0.0 -48 512

キ偏善政策トハ自ラ興リ大東亞共榮國建設ノ一大障礙ヲ示セル  
モノト言フヘシ、我々ハ此ノ高尚ナル理念ニ立脚シ東亞人ノ東  
亞ヲ完成シ世界恒久ノ平和ニ貢獻セサルヘカラス

大東亞省

(東京1730) (日本標準規格 B5) S 1.7.0.0 -48 513

REEL No. A-1211

0300

アジア歴史資料センター

三 滿洲國

(1) 張國務總理記者會見談

十一月五日

東亞ノ歴史始ツテ以來ノ重大會議テアツタタケニ洵ニ感銘深イ  
モノカアツタ、特ニ長イ間米英ノ桎梏下ニ奴隸扱ヒラ蒙ツアキ  
タ比島、緬甸、印度等ノ各國代表カ新興國家トシテ東亞建設ノ  
本會議ニ顔ヲ列ネタコトハ感激深イモノカアツタ、東洋史ニ一  
新紀元ヲ劃シタ此ノ會議ヲ開催シ得ルコトモ要ハ日本軍ノ武威  
ト日本朝野ノ舉國一致態勢ニ基クモノナル、此ノコトハ各代  
表モ熟知シテ日本ヘノ恩義ハ勿論東亞團結ノ力ヲ以テ如何ナル  
困難モ克服シ大東亞共榮圈確立ヲ誓ヒ合ツタ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -48

544

(2) 新京ニ於ケル大東亞宣言ニ對スル各界ノ所見 (滿大報告)

日系上層官吏特殊會社員方面ニ於テハ今次會議ハ東條首相ノ卓  
拔ナル指導力政治力發揮ニシテ共同宣言ハ大東亞戰爭ノ目的ヲ  
ヨク表現セルカ會議並宣言發表ニ依リ戰意昂揚ノ效果ハ大ナル  
モノアルヘシト好感ヲ示シアリ  
滿系華人方面ニ於テハ今次會議ハ日本ノ決意闡明ト共ニ重慶ニ  
對スル政治的反響ヲ考慮セルモノナルヘク又大東亞建設ニ伴フ  
日本ノ盟主的立場ヲ明確ニスル等米英ニ對スル政治的攻勢ナリ  
ト評シ居レリ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -48

545

REEL No. A-1211

0301

アジア歴史資料センター



開催シ大東亞各國ヲ聖戰完遂及共榮圈建設ニ向ヒ糾合セル餘裕  
綽々タル態度ニ新ナル驚異ヲ感シタリ

(一) 滿洲新聞(新京)社説 十一月九日

「使命達成セル張總理ニ感謝ス」ト謂シテ張總理カ大東亞會議  
其ノ他ノ會合ニ於テ充分滿洲國ノ立場ヲ開陳シ大東亞各國ニ深  
キ認識ヲ與ヘタルヲ感謝シ且今回ノ共同宣言ノ精神ハ滿洲國ノ  
建國精神ト全ク一致シタルカ滿洲國ハ愈々建國精神ニ徹シ大東  
亞共同宣言ヲ最モヨク實踐躬行セサルヘカラス

(二) 康徳新聞(新京)社説 十一月六日

世界ニ福祉ヲ齎ラス大東亞會議ト願シ敬働ノ「ケベック」會談

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48

546

三國會議或ハ既往ノ大西洋憲章等線ヲ欺瞞詭計ナリ、大東亞各  
民族ノ復興ヲ策セル大東亞會議ハ正ニ大東亞戰爭カ勝利ニ向ツ  
テ進ミツツアル證左ナリ、我官民カ戮力協心以テ生産ノ増強、  
北邊領護ノ重責ヲ果シ東亞各民族カ各其ノ力ヲ盡サハ大東亞ノ  
建設、延テ世界ノ福祉ハ吾人ノ眼前ニ在リ

(四) 「マンチユーリア・デイリー・ニュース」(新京)社説

十一月六日

本會議ハ亞細亞ノ世紀ノ大會議ニシテ米國ノ支配ヲ中心トスル  
物質的利益追求ノ組織タル汎米會議トハ大イニ異ナリ獨占ヲ許  
ササル全亞細亞人ノ互助協力ヲ日途トセルモノニシテ各國代表

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48

517

REEL No. A-1211

0302

アジア歴史資料センター

カ初メテ一堂ニ會シテ相互ノ諒解ヲ深メタリ、吾人ハ本會議ノ成功ヲ慶賀ス

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48

548

三、「フイリピン」

(イ)「ラウレル」大統領聲明 十一月十三日

各國代表ハ全東亞民族ノ運命カ一體不可分ノモノナアリ、東亞十億民衆ノ幸福ト安寧ハ大東亞共榮圈ノ建設ト維持ニ懸ツテ居リ、而シテ之ハ今次戰爭ノ最終的結果ノ如何ニ懸ツテオルトイフコトニ意見ノ全キ一致ヲ見タ。第二日目ノ會議ニ於テ日本側ヨリ五ヶ條ヨリ成ル共同宣言案カ提出サレ、各國代表カラ意見ノ開陳カアツタ後大東亞會議ハ滿場一致之ヲ採擇シタ、西歐帝國主義ノ食然ニヨツテ過去數世紀ノ間ニ互ニ分離サレテオタ東亞ハ茲ニ始メテ結集サレ偉大ナ協力ナ且鞏固ナ個體トシテ團結

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48

549

REEL No. A-1211

0303

アジア歴史資料センター

シタノアアル、共同宣言ハ之ヲ全體トシテ見テモ個々ノ簡條ヲ  
 検討シテモ實ニ立派ナモノナアリ、眞ニ偉大ナル人類ノ憲章テ  
 アル眞ノ東洋人タルモノハ否神ヲ信スルモノハ誰テモゴノ宣言  
 カ明示スル高遠ノ理想ニ双手ヲ擧ケテ贊成スルアラウ。共同  
 宣言ノ中テ余カ最モ感銘ヲ受ケタノハ共榮圈ノ各構成分子ニ對  
 シ、國土ノ大小或ハ力ノ強弱ニ關係ナク平等ノ取扱ヲ保證シタ  
 部分テアル。東條首相ハ共同宣言ヲ説明スルニ常ツテ特ニ「大  
 東亞共榮圈内ノ各國ハ互ニ自主ト獨立ヲ承認スルヲ共ニ全體ト  
 シテ相互ノ間ニ同胞的友好關係ヲ確立シナクハナラナイ。一  
 國カ其目的ノ爲ノ手段トシテ他國ヲ利用スルナラハ、斯カル關

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 H 6) S 1.7.0.0 -48 550

係ハ決シテ確立スルコトハ出来ナイ」旨ヲ強調サレタカ、以上  
 ノ言葉ハ大東亞共榮圈ノ各構成分子相互ノ行爲ヲ律スル根本的  
 原則ヲ反映シアキルモノナアル。此ノコトハ共榮圈ハ特定國ノ  
 利益ノ爲ニ建設サレントシテキルモノナハナイトイフ意味ヲ示  
 スモノナアル。今ヤ日本人ハ甚大ナル物的犠牲ヲ拂ツテ東亞  
 民族解放ノ爲ニ戦ヒ續ケツツアル。日本ハ日本國民ノ利益ノ爲  
 ニ戦ツアキルモノナハナク大東亞全民族ノ幸福ト安寧ノ爲ニ戦  
 ツアキルノアアル。日本ハ東洋人ノ線ヲカ太陽ノ下ニ於テ各々  
 其ノ所ヲ得ルヤウニスル爲ニ、而シテ亞細亞及亞細亞人ノ福祉  
 ノミナラス全世界ノ福祉ニ貢獻セントスル目的ノ爲ニ戦ツナキ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 H 6) S 1.7.0.0 -48 551

REEL No. A-1211

ルノアアル。日本ハ日本ト結合シテキル東洋ノ兄弟達ト共ニ生  
キ共ニ繁榮センコトヲ欲シアキルノテアル。

(四)「ラウレル」大統領ノ記者會見 十一月十三日(比大報告)  
「ラウレル」大統領ハ十三日午後「スタートメント」ノ發表ニ  
際シ會談列席者ヲ紹介ノ上日本側ノ歡迎振ヲ彼シ會議力ノ氣  
々裡ニ終始シ共同宣言採擇ニ至レル有様ヲ述ヘ其ノ五末原則ニ  
言及シ宣言ハ友邦諸國外交官參列ノ下ニ滿場一致可決セラレ東  
亞ノ諸國ハ茲ニ於テ初メテ團結シ鞏固ナル「ブロック」ヲ形成  
スルニ至レルカ、之レ實ニ人類ノ一大憲章ニシテ其ノ原則ニ付  
テハ東洋人ノミナラス何人モ異論ナキ答ナリトテ宣言ノ内容ヲ

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0-48

552

更ニ<sup>表</sup>執行説明セリ

(ハ)元重慶國民黨比島支部宣傳部長轉向

戰前重慶ヨリ派遣サレ抗日華僑ノ中心人物ト目サレテオタ前重  
慶國民黨比島支部宣傳部長會廷東ハ最近ノ我カ對華新政策、大  
東亞共同宣言等ノ崇高ナル理念ニ共鳴シ、去ル八日ノ大詔奉戴  
日當日ニケ年間ノ隱遁生活ヲ送ツタ「ブラカン」州「サン・ミ  
ゲル」山中カラ始メテ「マエラ」ニ出テ、比島憲兵隊ニ投降ヲ  
申出タ。會ハ心カラ前非ヲ悔ヒ驟然新比島建設、東亞ノ再建ニ  
協力スル旨ヲ誓ヒ、十三日釋放サレタカ、左ノ如ク決意ヲ語ツ  
タ。

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0-48

553

REEL No. A-1211



「私ハ之迄大東亞戦争其物ニ對シテ重大ナル誤謬ヲ犯シテキタ  
 カ、華文「マニラ」新聞ニヨツテ最近ノ日本ノ對華新政策、  
 大東亞共同宣言等新シイ東亞ノ動キヲ知リ、東亞民族トシテ  
 私ノ向フヘキ道ヲハツキリト悟ツタ。今こそ中國人ハ一體ト  
 ナツテ孫文ノ理想タル大亞細亞ノ復興ニ協力シナケレハナラ  
 ナイ秋タト思フ」

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48

554

四「タイ」國

(イ)「ワンワイ」代表聲明 十一月二十二日

余ハ今回大東亞會議ニ出席シ日本政府竝ニ國民ヨリ熱誠溢ルル  
 歡迎ニ接シ茲ニ改メテ謝意ヲ表明スル次第アアル、我々ハ先ツ  
 大東亞戦争完遂竝ニ共榮圈確立ニ必要ナル一般的事項ニ關シ隔  
 意ナキ意見ノ交換ヲ行ツタ後大東亞共同宣言草案ヲ會議ニ提出  
 シタカ全會一致ヲ以テ採擇サレタノナル、右共同宣言案ニ盛  
 ラレタ五大原則、就中相互主權尊重ノ原則こそハ共榮圈内各民  
 族間ノ連帶ノ確固タル規範タルト共ニ希望ノ淵源ヲナスモノア  
 アル、尙會議開催中竝ニ其ノ後ニ於テ勝報カ續々齎ラサレタ、

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -43

555

REEL No. A-1211

0305

アジア歴史資料センター

余ハ茲ニ日本陸海軍カ今後モ赫々タル創期的勝利ヲ收メ日本帝國カ益々繁榮ノ一途ヲ迎ランコトヲ衷心ヨリ希望スルモノデア  
ル

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 -43 556

五「ビルマ」國

(4) 「バー・モウ」國家代表記者會見談 十一月二十六日

大東亞會議ノ重大意義ニ付テハ所謂新世界ノ創造ト東亞各民族ノ合同協力カ今回初メテ實現シタノアアル、此ノ會議ハ數々ノ偉大ナル成果ヲ得タ  
其ノ第一ハ東亞建設共同宣言ノ發表テアル、實際今回ノ宣言コソ紙上ノ宣言アハナク東亞各民族ノ感情ヲ表明シタモノデアアル、即チ理屈ヨリモ人間ノ心ヲ擱ンタモノデアアル  
第二ノ成果ハ東亞史上初メテ民族ノ指導者間ニ個人的接觸力出來タコトテ、余個人ニシテモ汪主席ニ初メテ才會ヒシタカ、其

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 -43 557

REEL No. A-1211

0307

アジア歴史資料センター

ノ結果余ニハ支那問題ノ深サカ判リ、其ノ解決カ如何ニ微妙複雑ヲ極メテキルカヲ諒解シタ、「ビルマ」カ接敵地域トシテノ困難ヲ冒シテ健闘シテキル事實ヲ傳ヘレハ各國代表ハ我カ事ノ様ニ「ビルマ」ノ第一線政策ヲ諒解シテ呉レタ、此ノ際特ニ強調シ度イノハ「ボース」氏カ印度問題ノ解決コソ「アジア」問題ノ解決ヲ意味シ印度ノ自由ナクシテ「アジア」ハ自由タリ得ナイコトヲ各代表ニ完全ニ納得セシメ得タコトデアアル

第三ノ成果ハ東亞新秩序建設實現ノ第一歩カ踏出サレタコトデアアル、各民族ノ協力一致ヲ更ニ友好的ニ強メルノハ我々ノ任務デアアル、余ノ要望トシテハ大東亞會議ヲ定期的ニ開催シテ實ヒ

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 -48 558

度イト思フ

「ビルマ」ノ政策モ亦共同宣言ノ趣旨ニ基イテ改變サレル必要カアラウ、第一ニ何ヨリモ先ツ國民全體ニ共同宣言ノ趣旨ヲ徹底セシメ「ビルマ」民族主義ノ上ニ大東亞意識ヲ補強セネハナラヌ、第二ニ外交使臣トハ行カナイアモ各民族間ニ使臣ヲ交換シ合ヒ各民族間ノ紐帶ヲ強化セネハナラナイ、第三ニ各民族ノ文化的ニ生活状態ノ情報ヲ交換シ相互ニ夫々ノ長所ヲ取り、以テ夫々ノ短所ヲ補フコトデアアル

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 B6)

S 1.7.0.0 -48 559

REEL No. A-1211



六南万共他

(4) 「ボース」自由印度政府首班對外放送 十一月十七日

解散サレタ東亞ノ諸氏ガ新秩序建設ノ爲結集スルノハ近世史  
上今回カ取初テアル、従来歐洲ニ於ケル國際秩序建設ノ試ミハ  
強國ノ利己主義ト質變トノ故ニ悉ク失敗ニ歸シタ、國際聯盟ハ  
其ノ取依ノ試ミテアツタカ、英佛兩國カ使ラニ日國ノ利益促進  
ノ具ニ供シタルカ故ニ和同室息死滅スルニ至ツタ、東亞ニ於ケ  
ル國際秩序、俟言スレハ大東亞共榮圈ハ、正統ト稱欲王義ト互  
助救護ノ基礎ニ打テ立テラレテキルカ故ニ、至世界カ國際秩序  
ノ建設ニ失敗シ様トモ東亞タケハ必ス共榮圈ヲ確立シ、世界史

S 1.7.0.0 -48 560

ノ初メニ於ケルト同様、科ヒ光ハ東方ヨリ全世界ニ行渡ルテア

ラウ、世界ノ新秩序カ東方ニ於テ始リ、新秩序ノ礎石カ日出ツ  
ル處ニ於テ打結セラレルノハ、至ク歴史ノ師スル所テアル、所  
謂自由主義的民主主義的各國ハ、戰爭カ終了シ、平和カ實現シ  
テ初メテ新秩序ヲ打建テルコトカ出來ルト併シテキルカ、東亞  
ニ於テハ世界戰爭ノ具中ニ於テ新秩序カ實現サレルノテアル  
意思ノアル所即チ追ノ存スル所テアリ、誠實ト眞剛サヲ以テス  
レハ、山ヲモ動カスコトカ出來ヨウ  
大東亞會議ニ於テハ、「ビルマ」代表「バー・モウ」氏ノ演唱  
ニ依リ印度ノ獨立運動ヲ又發スル旨ノ決議案カ全會一致可決サ

S 1.7.0.0 -48 561

REEL No. A-1211

0309

アジア歴史資料センター



レタカ、印度向進ハ其ノ本質的ナ重要サノ故ニ、會議ニ於テ終始各國代表ノ敢モ重視スル所テアツタ、印度ノ獨立ト自由ニシテ新ナ且ツ自由ナル亞細亞ハアリ得ナイ、印度ノ向進ハ即チ亞細亞ノ問題テアルト云フノカ各國代表ノ一致シタ見解テアツタ、會議ノ席上東條首相ハ印度假政府ニ對シ「ベンガル」灣頭ノ「アンダマン」並ニ「ニコバル」諸島ヲ委讓スル旨言明サレタ、之コソ獨リ印度人ニ對スルノミナラス全世界ニ對シ、日本政府ノ誠意ヲ明確ニ實證シタト言ヘヨウ

(四) 南方華僑有力者胡文虎談 十一月六日

大東亞六ヶ國ノ指導者カ東京ニ集リ、米英擧げ、共榮圈建設ニ

付テノ決意ヲ表明シ、万策ヲ協議スルコトハ大東亞民族ノ歴史上劃期的ノ出來事テアリ、今次大東亞會議ノ結果兩方建設モ愈々本格化スルト考ヘルカ、華僑ハソノ經濟力ヲ以テ現地住民ト相携ヘテ米英勢力擊碎ノ戰爭完遂ニ協力シ、共榮圈建設ニ貢獻スルテアラウ

(イ) 「アンダマン」在任印度義勇軍創設

印度獨立聯盟「アンダマン」支部テハ十二日民政部ニ會議ヲ開イタ結果、首腦部ノ改組ヲ斷行シ支部長ノ下ニ義勇軍ヲ創設スルコトニ決定、既ニ創設委員カ擧ケラレテ島内ノ各村カラ二十歳乃至四十歳ノ壯丁若干名カ選ハレ同時ニ軍樂隊ノ準備モ出來

タノテ來ル二十五日頃盛大ニ義勇軍創設式ヲ舉行、祖國開放ノ  
第一線ニ立タセルコトニナツタ

(二)佛印ニ於ケル反響 十一月十三日(西大報告)

大東亞會議ニ關シテハ一部知日派竝ニ日本ニ「インテレスト」  
ヲ有スル者ノ中ニハ戦力ニ併行スル日本ノ政治力ニ感嘆シ居ル  
向モアルカ印度支那カ同會議ニ代表ヲ送ラス又印度支那問題ニ  
ハ觸レサルコトカ一黨輿論ニ反映シ一般大衆ハ大ナル關心ヲ示  
ササル如ク見受ケラレ新聞等モ漢字紙ハ別トシテ佛、安南字紙  
共比較的平凡ナル報道振リヲ示シ居レリ

S 1.7.0.0 -48 564

七重慶

(一)重慶放送 十一月十日(南大報告)

重慶放送ハ十日大東亞會議ニ對シ「モスコ」四國會議ハ我方  
ノ勝利獲得ノ方法ヲ具體化シテ日獨ノ無條件降伏ニ至ル迄ノ共  
同作戰ヲ繼續スルコトナリタル一方日本ハ勝利ノ自信ヲ失ヒ  
テ唯傀儡會議ヲ利用シテ其ノ滅亡ヲ免レントシ居ルモ之ハ不可  
能ニテ將委員長ノ言明ノ如ク勝利ハ一年以内ニ到達スヘク米英  
蘇ハ和平擁護ノ中軸ナリ同胞ヨ勝利ハ眼前ニアリ歎起ヲ希望ス  
云々ト甚々簡單ニ取扱ヒ居レリ

(二)新華社電 十一月十三日(北大報告)

大東亞

S 1.7.0.0 -48 565

REEL No. A-1211

今回東京ニ於テ招集サレタル大東亞會議ハ滿洲、緬甸、馬尼刺  
及新嘉坡チ一串扮飾セントスル傀儡劇ノ演出ニ外ナラサリシコ  
トハ異言ノ餘地無シ時俗モ莫斯科會議ノ直後ニテモアリ日本側  
ニ於テ右ハ世界史上如何ナル會議モ之ニ及ハスト宣傳シ居レル  
事實ヨリ見テ本會議カ三國會議ノ成果ニ驚キ日本國及占領地域  
國人民ニ對スル一ノ芝居タルハ明カナリ右ハ却テ日本ノ益々困  
難状態ニ陥リ居レル表線トモ見ラルヘシ

S 1.7.0.0 -48

566

大同盟國

(1) 獨逸ニ於ケル反響 十一月五日

獨逸各紙ハ五日夕刊以來大東亞會議ノ模様ヲ大々的ニ報道シテ  
居ルカ其ノ論旨左ノ如ク東亞ニ於ケル政治的發展ニ對シテ滿腔  
ノ敬意ヲ表スルト共ニ大東亞國民ニ對シ羨望ノ念ヲ強クシテ居  
ル  
今次大東亞會議テ決議サレタ決議ハソノ理想カ大西洋憲章ニ比  
ヘルト全ク比較ニナラナイ程建設的テアリ、コノ理想ヲ中心ト  
スル大東亞民族ノ大同團結ハ米英カ如何ニモカイテモ武力ヲ以  
テ破ルコトノ出來ヌ鐵壁ノ固サヲ持ツモノテアル

S 1.7.0.0 -48

567

REEL No. A-1211

(四)「ハンブルグ、フレムデン、ネラツト」(獨)社説

十一月十七日(在獨大憲報告)

英米カ莫斯科會議席上蘇聯ノ意ヲ迎フル爲歐洲ノ處分名目ヲ「ボ  
ルシエビズム」ニ引渡シ居ル間東亞ユテハ既ニ政治的文化的ニ  
完全ナル獨立ヲ有スル六箇國ノ代表者東京ニ集合シ自主的東亞  
聯盟ヲ結成セリ、右聯盟ハ時日ノ經過ト共ニ鞏固トナリ英米ノ  
虚偽的反對宣傳ヲ事實ヲ以テ粉碎スルニ至ルヘシ  
日本カ未タ暫テ緊密ナル政治的協力ヲ遂ケタルコトナキ東亞諸  
民族ヲ打テ一丸トナシ得タルハ將ニ此細亞史上ノ革命的大事件  
ト稱シ得ヘク英米蘇ノ植民地ト化シ居タル東亞モ日本カ三大戰

S 1.7.0.0 -48 508

争ヲ取行シタル爲其ノ政治的自衛ヲ回復シタルモノナルニ依リ  
日本カ東亞聯盟ノ盟主タルハ歴史の必然ニ基クモノナリ  
開國カ日猶淺キ日本カ十億ノ人ノ運命ヲ左右スヘキ世界政治的  
意義ヲ有スル大會議ヲ主催スルニ至リタルハ國際政治ニ於ケル  
日本ノ指導能力ヲ實證スルモノニシテ日本ニ取リテモ史上劃期  
的事件ナリ、日本ノ巧妙ナル外交方針ハ熱帯地帯居住民ヲ自覺セ  
シメ經濟開發事業訓練等ヲ促シ東亞防衛ノ責任ヲ分擔セシメ居  
ル一方東亞文化ノ勃揚ニモ細心ノ注意ヲ拂ヒ居レリ  
東亞聯盟カ單ナル軍事防衛同盟ヲ意味セス、復舊的ナル對英  
米攻勢ヲモ企圖シ居ルハ東京會議ニ於ケル各代表就中印度及緬

S 1.7.0.0 -48 509

REEL No. A-1211

甸代表ノ膏動ニ徴スルモ明カナル處英國ノ印度政策ハ此ノ傾向  
 ニ拍車ヲ掛クル結果トナリ居レリ  
 英米ノ陳腐ナル植民政策ニ對シ日本ハ民族平等ノ原則ヲ提唱シ  
 以テ東亞ノ人心把握ニ成功シ居ル處右ハ英國ノ植民地統治ニ終  
 止符ヲ附スルモノナルヘシ  
 (イ) 勃歐政府要人等ノ所見 十一月十九日(在勃公使報告)  
 勃歐政府要人並ニ民間有力者ハ異口同音日本ノ民族政策カ終始  
 一貫シ聰明適切ナルコトヲ激賞シ(殊ニ獨ノ「ウクライナ」民  
 族政策ト對照批判スル向多シ)日本カ克ク大規模ノ戰爭遂行ト  
 同時ニ東亞ニ於テ民族解放ト集結ノ大事業ヲ達成シ最早何人モ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 R5)  
 S 1.7.0.0 -48 570

勤シ侍サル既成事トナリ上ケタルコトニ對シ滿洲ノ敬意ヲ表  
 シ居レリ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 R5)  
 S 1.7.0.0 -48 571

REEL No. A-1211

大東亞省

「ダグ・ホーベン」(柳興)社説 十一月六日  
 大東亞省議ノ有スル風我ハ極メテ皇安ヲ日本ハ「レニ」取ツテ日  
 本ヲ指導者トスル利大東亞ノ俾谷ヲ誇ルヘルヲ待タノアアル、  
 今ヤ馬埃スヘキ世界史の變化ノ真境シタノアアル東亞ニ母ヒ如  
 秩序ヲ建ル「ト」ハ神妙ニ不可解アル東亞各國ノ巨大ナル聯盟カ  
 打倒アルレヨカモ「レ」フ各國ノ利害ハ早ニ日本ノ甲軍力ノミ  
 アハナイノアアル  
 (分國ニ於ケル反省 十一月十六日(任分公使報告)  
 分國目録、民間及學界等自刀者方面ニ於テハ市國ノ大東亞建設

(東京1730)(日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -43

572

大東亞省

ノ崇高ナル理念、實行方法及其ノ成功ヲ賞讃シ光ハ東ヨリトノ  
 讚辭ヲ呈シ居リ、暗ニ歐洲ニ於ケル獨逸ノ遺リ口ヲ皮肉リ、饑  
 ラク日本ニ倣ヒタキモノトノ希望ヲ有シ居ルカ如キ印象ヲ與フ  
 ルト共ニ恰モ時ヲ前後シテ開カレタル莫斯科會談ニ比シ人類文  
 化史上雲泥ノ差アリトナシ居レリ  
 (「ブエブロ」(西)社説 十一月十七日(在西公使報告)  
 日本ノ領土ハ頗ル狹隘ニシテ之ニ一億ノ人口ヲ抱擁シ更ニ年々  
 人口増加ノ爲移民及工業兩政策ニ依リ之ヲ解決セントシタルカ  
 結局領土擴張ノ外手段ナク先ツ滿洲事變トナリ遂ニ今次ノ米英  
 帝國主義トノ角逐トナレリ、而シテ世界各國ハ日本カ縮戦ニ於

(東京1730)(日本標準規格 B5)

S 1.7.0.0 -48

573

大東亞省

REEL No. A-1211

ナ占領シタル廣大ナル地域ノ統治ヲ困難視シ居ルカ日本ハ短期  
 間ニヨク凡ユル困難ヲ克服シ所謂大東亞共榮圈ノ設立ニ成功セ  
 リ、一方日本國民ハ今次大戦勃發當初ヨリ命運ヲ賭スル戦争ナ  
 ルコトヲ覺悟シ有ユル物資ヲ節約シ一死殉難ニ殉スルヲ決心シ  
 居リ、今次大東亞會議ノ開催モ日本カ此精神ヲ東亞各民族ニ植  
 付ケントスルモノニ外ナラヌ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 H5)  
 S 1.7.0.0.-48 574

一 Q 敵 國

(イ) A P 紐育發 十一月六日

紐育發 A P ハ大東亞會議開催ノ事實ヲ報道シ日本政府於ニ五ヶ  
 國代表ノ顔觸ヲ報道セリ

(ロ) A B C 放送 (濠洲) 十一月六日

東條首相ハ昨日亞細亞「クイスリングズ」會議ヲ主宰セリ右會  
 議ニハ比島、緬甸、「シヤム」、南京、滿洲等ノ傀儡政府代表  
 者參列シ印度煽動者「チャンドラー・ボース」モ出席セリ

(ハ) A P 發信地ナシ 十一月七日

日本「ラジオ」ハ東京會議ニ出席セル五傀儡政府指導者カ米英

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 H6)  
 S 1.7.0.0.-48 575

REEL No. A-1211

ノ大東亞ニ對スル飽クナキ侵略擄取ヲ排撃シ「相倚り相扶ク」以テスル世界平和計畫案ヲ採擇セル旨ヲ報道シタルカ同放送ニ依レハ右代表等ハ「大東亞ヲ米英ノ桎梏ヨリ解放シテ其ノ自存自衛ヲ全ウスル」爲戦争ノ完遂ヲ誓ヘル共同宣言ヲ發表セル由之ヨリ先一代表ハ所見開陳ニ於テ占領地域原住民ニ對スル日本側ノ超高等態度ニ對シ警告スル所アリタリト云フ

(二)米國內中波放送「「サクラメント」十一月八日

「ラジオ」東京ハ、日本ハ「アンダマン」及「ニコバル」諸島ヲ「ボース」指導下ノ日本傀儡政府、自由印度政府ニ解放スル旨ヲ發表シタカ本發表ハ東京ア開催サレタ大東亞會議ノ席上昨

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48 576

日東條ニ依ツテ發表サレタモノテアル

(一)「デリー」(印度)泰語放送 十一月六日(泰大報告)

會議劈頭東條挨拶ニ依レハ會議ノ目的ハ英米カ益力ヲ擧ケテ亞細亞ヲ功撃シツツアルヲ以テ右ニ對スル反撃ノ爲各國ノ益力ヲ集メルニアルカ若シ日本政府ニ充分ナル戦力カアツタラハ何モ辭ヲ低クシテ管轄下ノ諸國ノ助力ヲ求メナカツタアアラウ

泰ノ「ピ」元帥ハ健康勝レサル爲出席不能トナリ「ワンワイ」殿下カ代理トシテ参加シタカスカル衰弱セル指導者ハ決シテ國家ヲ救ヒ得ナイ、何レニシテモ今次ノ會議ハ聯合軍ノ連勝ニ對スル煩悶ノ現レテアリ正ニ「死ノ條約會議」テアル

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 H6)

S 1.7.0.0 -48 577

REEL No. A-1211



(2) ABC (濠洲) 「ソーヤー」解説放送 十一月九日

今次ノ東京會談ハ新日本帝國ヲ繞リ如何ナル事態カ起リツツアルカヲ如實ニ示スモノナアル第一ニ名ノ有力者ノ不参加アリ泰西「ビブソ」首相ト佛印「ドク」總督之ナルカ右ハ彼等カ日本側獨裁者ノ脅迫ト願便ニ反號スルニ充分ナル自信ヲ抱キ初メタル證左ト認ムルヲ得ヘシ  
又東京會談ニ「マライ」或ハ「インドネシア」ノ代表者ノ不参加ハ注目ヲ要ス結局會談參加者ハ日本側ニ直接依存スル傀儡指導者ノミニ限ラレ居ルハ事實ナル處、之等傀儡代表者ニ於テモ日本ノ戰爭遂行ニ對シ、幾分微温的ナル態度ヲ持スルヲ認メ得

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 R6) S 1.7.0.0 -43 578

ルハ興味アル點ヲリトス

(1) 「ローズヴェルト」大統領演説 十一月九日

「ロ」大統領カ聯合國側救濟復興機關設置協定調印式ニ於テ處シタル演説中、左記末尾ノ個所ハ前後ノ關係ヨリ見テ大東亞共同宣言ニ對スル一種ノ反響トモ認メラレサルニアラス  
「敗北ニ於テモ勝利ニ於テモ聯合國側ハ自由、寛容、獨立及安  
全ノ根本原則墨守ヨリ逸脱シタルコト絕對ニナシ」

(2) KGEI (桑港) 「テンブル」解説放送 十一月十六日

水曜日重光外相ハ日本國民ニ對シ亞細亞ニ於ケル東京版「新秩序」ノ若干ノ真相ヲ開陳スル所アリタリ、即チ同外相ハ東京ニ

大東亞省

(東京1780) (日本標準規格 R6) S 1.7.0.0 -48 579

REEL No. A-1211

於ケル最近ノ東亞僑僑會議ニ言及シ「本會議ニ於テ自分ノ得タル深キ印象ハ會議出席者達カ生存スル爲ニハ彼等ノ好ムト好マサルトニ拘ラス日本ト協力スルノ外ニシト感シ居ル點ニアリ」ト述ヘタリ

(9) 「デリー」(印度)泰語放送 十一月十七日(泰大報告)

十二日盤谷滞在中ノ失業者ヲ集メテ「ピ」首相ハ平民的ニ話ヲシ「自分モ一般人ト同様平凡ナル生活ヲシテ居リ失業者カ常食シテ居ル」「ナムブリク」(芥子醬油)ヲ愛用シテ居ルノア數年來今日ニ至ル迄一度モ病氣シタコトカナイ」ト述ヘタ、然ル處五日「ワンワイ」カ東京ヲ東條ニ向ヒ「ピ」カ不健康ナル旨ヲ申

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 F5)

S 1.7.0.0 -43 580

立テタルヲ指摘シ東京迄出向クコトノ出来ナイ「ピ」ハ一國ノ指導者タル資格カナイト批評シタノヲ氣ニシテ自分ノ健在ヲ主張スル爲ニ「ナムブリク」常食ヲ發表シタニ過キナイ、若シ「ピ」ノ此ノ言葉カ東京ニ知レテ「ワンワイ」カ質問サレタラ如何ナルタラウカ、結局「ピ」ハ東條ニ虚言ヲ吐イタコトニナリ「ワンワイ」ハ虚言ヲ言フヘク命セラレタノタ

大東亞省

(東京1780)(日本標準規格 F5)

S 1.7.0.0 -43 581

REEL No. A-1211

第十一、大東亞會議ノ成果ニ關スル判斷

一、大東亞會議ノ成果トシテ第一ニ注意スヘキハ大東亞共榮圈内ノ各指導者カ新興國タルト否トヲ問ハス一黨ニ相會シ和氣藹々裡ニ大東亞戰爭完遂ノ牢固タル決意ト大東亞建設ノ方針ヲ闡明セシムル事實ソノコトナリ斯ル事實ハ大東亞共榮圈内ノ行政ノ首班タルモノヨリ暗ヘハ日本トノ關係カ感々密接不離トナリタルコトヲ中外ニ明ニシタルモノト云フヘク日本ノ戰勝ニ依リテノミ彼等ノ政權モ亦維持シ得ヘキ所以ヲ覺悟セルニ至ラシメラレシコトナリ斯ル覺悟ハ滿洲國、中華民國、「ビルマ」國ニ付テハ夫々ソノ政權成立ノ歴史的經緯及環境ニ鑑ミ問題ナカリシモノ

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 582

「イリピン」ニ付テハ永年ノ米國統治ト米國忠志ノ影響ニ鑑ミ果シテ何ノ程度迄衷心ヨリ誠意ヲ披瀝スルヤ危マレタルカ「ラウレル」ノ熱意ト雄辯ハ完全ニ此ノ杞憂ヲ拂拭セリ惟フニ「ラウレル」ノ此ノ態度ハ大東亞會議ヲ契機トシテ彼ノ反木英的眞實ヲ強度ニ明白ナラシメタモノト謂フヘク此處ニ至ル迄ニハ彼カ元ツ一身ヲ犧牲ニシテ新興國「フィリピン」ノ大統領タル職ト運命ヲ共ニセントスル覺悟ヲ固メ來レル一方大東亞新秩序ノ理念ヲ埋込トスルニ於テハ「フィリピン」モ將來完全ナル獨立ヲ維持シ侍ヘキカ故ニ彼ノ側ヨリ積極的ニ右理念ノ正義性ト崇高性ヲ強調スルコトニ依リ日本ノ今後ノ施策ヲシテ右ニ準據セサ

大東亞省

S 1.7.0.0 -48 583

REEL No. A-1211

ルヘカラサルニ至ラシムル如ク行動スルヲ「フィリピン」ノ爲  
 最モ利益ナリト判断セルニ依ルモノト考ヘラル  
 「タイ」國ニ付テハ前記「ビブン」 缺席ノ問題アリ且具ノ對日  
 協力カ日泰同盟締結以來漸次積極性ヲ缺キ來レル事實ニ鑑ミ果  
 シテ例ノ程度迄信念ヲ吐露スルヤハ一被ニ關心ヲ有セシ處ナル  
 カ大東亞會議ニ於テ「タイ」國代表「リンワイ」カ他ノ代表ト  
 歩調ヲ合セソノ熱意及雄辯感ニ於テ多少見劣リセルモ兎モ角大  
 東亞會議ニ「ヒッチ」ヲ來サシメルコトナク勸調ノ態度ヲ示シ  
 タルハ幸ト謂フヘシ而モ「タイ」國代表ハ他ノ代表ノ熱烈ナル  
 態度ノ影響ヲ受ケタル如ク觀取セラレ彼ノ歸朝後「ビブン」ヲ

大東亞省

東京1730 日本標準規格 B 5  
 S 1.7.0.0 -48 584

種々ナル意味ニ於テ各發スル所アリタルハ事實ト認メ侍ヘク右  
 事實ハ其後ニ於ケル「ヒブン」來朝ノ意思表明以テ戰爭協力ニ  
 對スル態度殊ニ自由印度假政府ノ公使ノ盛谷派道方ニ囑スル彼  
 ノ旋言等ニヨリ表露サレ居ルモノト認メ侍ヘシ  
 從テ大東亞會議カ少クトモ大東亞獨立國ノ指導者ニ對シ會議ノ  
 目的トスル戰爭完遂ノ決意ト大東亞共榮圈建設ノ方針ニ關スル  
 所見發表ヲ找方ニ押付クルコトナク彼等自身ノ目鼻ト相互牽制  
 ニヨリ誘導シ得タコトハ大東亞總力結集ノ第一段階タル意味ニ  
 於テ極メテ重要ナル成果ト謂ヒ得ヘシ  
 右ニ述ヘタ所ハ會議開催カ大東亞内獨立國ノ指導者ニ及ホシタ

大東亞省

東京1730 日本標準規格 B 5  
 S 1.7.0.0 -48 585

REEL No. A-1211

ル顯者ナル成果ナルカ更ニ敵ニ對シテハ日本カ無理且強引ニ會  
 議ヲ招集シタル如キ何等ノ痕跡ナク會議カ開カレタ事實ト此ノ  
 會議ニ於テ大東亞各國ノ指導者カ夫々宣々タル反米英的思想ヲ  
 吐露シタル事實カ及シタル影響ヲ效果ト認メ得ヘシ米英ハ現狀  
 階ニ於テ日本ノ東亞ニ於ケル建設情況ヲ過大視シ居ルコトハ事  
 實ニシテ之カ爲必死ノ總反攻ヲ爲シ居ル次第ナルカ大東亞會議  
 ノ開催ニヨリ更ニ此ノ考ヘ方ヲ深クセルモノト認メ得ヘシ此ノ  
 結果彼等ハ二條ノ影響ヲ受ケ居ルモノト認メラル即チ其ノ一ハ  
 大東亞戰爭ハ容易ナラストスル階イ氣持ニシテ此レカ爲彼等ト  
 シテハ戰爭目的ノ再檢討ヲスルカ乃至大東亞政略ニ均應スル何

大東亞省

等カノ政略ノ手ヲ考ヘサルヲ得サル如ク受身ノ立場ニ置カレタ  
 ルコトナク此ノ事ハ戰局カ彼等ニ有利ナル華々シキ展開ヲ爲サ  
 サルニ伴ヒ更ニ深刻ニ考慮サルニ至ルヘク彼ノ「カイロ」會  
 議モ正シク大東亞會議ノ影響ト云フヘシ其ノ二ハ日本カ大東亞  
 結果ニ成功ヲ收メツツアリト判斷スル程度ノ焦慮ヲ高メタルコ  
 トニシテ此ノ事ハ一面ニ於テ敵ノ軍事的反ノ攻ヲ政略的考慮ヨ  
 リ激化セサルヲ得サラシムルト共ニ他面若シ彼等ノ軍事的反攻  
 ニシテ儘カノ蹙蹙ニ遭遇センカ或ハ根本的ニ自信ヲ失ハシムル  
 ノ素地ヲ培養シタルモノト觀シ得ヘシ此等ノ事柄ハ大東亞會議  
 ノ成果トシテハ顯者ナルモノニ非スソノ性質極メテ消極的ナル

大東亞省

モ情勢ノ轉回ニ臨ミ將來利用シ得ヘキ種ヲ時キタルモノナリ  
 重慶モ米英ト同シ意味ニ於テ獨切ヲ受ケタルモノト觀取セラル  
 從テ重慶ニ於テハ自己防衛ノ爲更ニ米英ノ援助ヲ熱烈ニ懇請ス  
 ルト共ニ「アジア」ニ於ケル孤立ニ對シ遂次何等カノ釋明ヲ行  
 ハサルヲ得サル做目ニ誘導セラレツツアリ然シ乍ラ重慶ノ獨切  
 ノ方向ハ止シク右ノ方向ニ止リ之ヲ轉機トシテ轉テ日本ト結ハ  
 シトスルト云フ如キ氣勢ハ益富リ絶對ニ無シト云ハサルヲ得ス  
 然シ乍ラ此レハ日本ノ觀シタル重慶ノ立場ニシテ米英ヨリ見レ  
 ハ重慶危シトノ觀ヲ抱クコト必然的ナルヘク從テ米英ヲシテ焦  
 慮セシムルノ效果アリタルト共ニ重慶ニ對シテモ米英ノ今後ノ

大東亞省

(東京1730) (日本標準規格 B5)  
 S 1.7.0.0 -48 588

實質的援助ノ如何及帝國今後ノ施策如何ニヨリ重慶抗戰熱意ノ  
 冷却ヲ來サシムルノ機アルヘシ  
 三、次ニ本會議カ大東亞總力結集上ニ及ホシタル效果ニ付判斷スル  
 ニ先ツ前記一ニ於テ述ヘタ如ク指導者カ共同ノ覺悟ヲ決メテ點  
 ニ於テ一歩前進セルモ一般民衆ニ對シテハ斯カク顯著ナル效果  
 ヲ生シ居ラス即チ一般民衆ニ對シテハ各代表歸朝後熱心ニ呼掛  
 ケ民心把盞ニ努力シ居ルモ概シテ雷吹キテ踊ラスノ感ナキニ非  
 ス惟フニ大東亞各地ノ情勢ハ何レモ支那ト同様ノ經濟的困難ニ  
 直面シツツアリ此ノ經濟的困難ヲ克服シ生活ノ安定ヲ得シムル  
 唯一ツノ事例テモ民心ニ及ホス影響ハ甚大ナルニ反シ大東亞會

大東亞省

(東京1730) (日本標準規格 B5)  
 S 1.7.0.0 -48 589

REEL No. A-1211

議及大東亞共同宣言ノ如キハ一部極メテ少數ノ愛國ノ士ヲ除キ  
 餘リ現實ノ生活ト懸ケ離レ居ル爲無關心タラサルヲ待ス即チ本  
 會議ハ大東亞結集ノ爲ノ基石トハナルヘキモ此ニテ大東亞總力  
 結集上尙等カ<sup>的</sup>效果アリタリト爲スハ<sup>必要</sup>由<sup>出</sup>極安キ<sup>途</sup>キス<sup>要</sup>ハ今  
 後最モ解決困難ナル經濟問題ヲ捉ヘソノ戰後ニ於ケル必然的趨  
 勢ヲ運命域トシテ受け取ラシムル如ク應策スルト共ニ經濟問題  
 ノ處理ニ富リテハ殊ノ外大東亞共同宣言ノ趣旨ノ具現ニ努メ小  
 ナル事實ノ累積ト之カ宣傳強化ニヨリ更ニ與ヘラレタル方向ニ  
 邁進スルノ要アリ

大東亞省

東京1730 (日本標準規格 B 5)

S 1.7.0.0 -48

590

REEL No. A-1211